

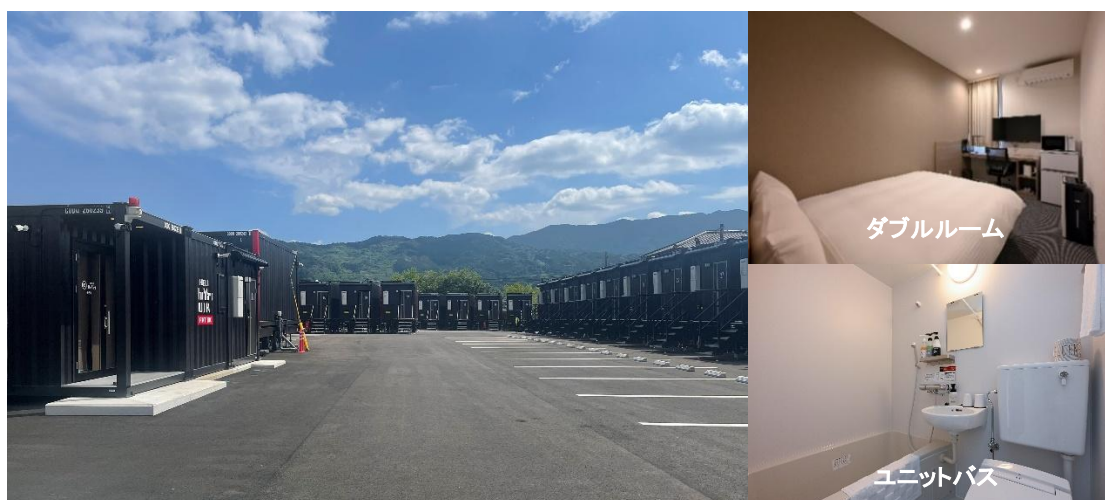
福岡県うきは市にコンテナホテル

「HOTEL R9 The Yard うきは」が2026年9月29日(火)開業予定！

杷木ICから車で約10分、国道210号沿い！宿泊と防災の両面を担う新たな拠点が登場

株式会社デベロップ(本社:千葉県市川市、代表取締役社長CEO:岡村 健史、以下「デベロップ」)は、福岡県うきは市にコンテナホテル「HOTEL R9 The Yard うきは」を2026年9月29日(火)に開業予定です。

なお、当ホテルは、「R9 HOTELS GROUP」では全国で150店舗目、そのうち「HOTEL R9 The Yard」シリーズとしては142店舗目の開業となります。



HOTEL R9 The Yard うきは 外観

【HOTEL R9 The Yard うきは 施設情報】

施設名:	HOTEL R9 The Yard うきは (ホテル アールナイン ザ ヤード ウキハ)			
施設場所:	福岡県うきは市吉井町清瀬470-9			
オープン日:	2026年9月29日(火) 予定			
予約受付開始日:	2026年9月18日(金) 15:00 予定			
アクセス:	【お車】 大分自動車道「杷木IC」より車で約10分、「朝倉IC」より車で約15分 【電車】 JR久大本線「筑後吉井駅」よりタクシーで約5分			
駐車場:	あり(無料)			
駐車台数:	普通車／軽自動車42台			
敷地面積:	2,917㎡(882坪)			
客室数:	42室			
客室構成:	ダブルルーム38室／ツインルーム4室			
<ダブルルーム>	定員:2名 広さ:13㎡	1名 6,200円／泊～	2名 8,700円／泊～	
<ツインルーム>	定員:2名 広さ:13㎡	1名 6,200円／泊～	2名 9,700円／泊～	
ホームページ:	https://hotel-r9.jp/hotels/ukiha/			

【久留米・うきは工業団地へのアクセス良好！ビジネス・観光の拠点に】

福岡県内で9店舗目の出店となる「HOTEL R9 The Yard うきは」は、大分自動車道「杷木IC」より車で約10分、国道210号沿いに位置します。ホテルから車で10分圏内には「久留米・うきは工業団地」を中心に工場が集積、徒歩圏内にはコンビニエンスストアもあり、ビジネスでの連泊・長期滞在等に便利な立地です。

また、「美人の湯」として知られる温泉地「筑後川温泉」や、「道の駅うきは」、白壁土蔵造りの町並みが残る「筑後吉井 白壁の町並み」など、人気スポットへのアクセスも良く、うきは市の観光・レジャーの拠点としてもご利用いただけます。

当ホテルシリーズは、災害などの有事の際には、国や自治体等からの要請に基づき、客室を仮設宿泊所等として提供する「レスキューホテル」の役割を担います。うきは市とは、2024年6月21日（金）に災害協定を締結しています。宿泊と防災の両機能を備えた施設として、同市と連携を図りながら、地域の活性化と防災力の向上に資するホテル運営に努めます。

【災害時には避難所等になるフェーズフリーのホテルで備えない防災を】

当社が運営する「HOTEL R9 The Yard（ホテル アールナイン ザ ヤード）」シリーズは、斬新な外観と上質な空間を持ち合わせたコンテナホテルです。建築用コンテナモジュールを利用した独立客室は、隣室と壁を接しないため静粛性とプライバシー性に優れます。13㎡の室内には、良質なベッド、ゆったり使用できるユニットバス、冷凍冷蔵庫、電子レンジ、加湿空気清浄機等を備えており、シンプルながら高い快適性を実現。多くのお客様の好評を得て、全国で141店舗5,615室を運営中です（2026年8月1日現在）。また、有事の際には、国や自治体等の要請に基づき、客室をすみやかに被災地へ移設し避難施設等にご利用いただく「レスキューホテル」としての役割を担うことで、「災害に強い社会」および「未来の命や暮らしを守ること」に資するよう努めます。なお、「動くホテル」「レスキューホテル」との語および、それらの関連標章※は、各々、末尾のとおり、商標登録をしております。

ホテル アールナイン ザ ヤード シリーズ ブランドページ: <https://hotel-r9.jp/brands/theyard/>

レスキューホテル ウェブサイト: https://www.dvlp.jp/lp/rescue_hotel

【東日本大震災の経験をもとに実現／レスキューホテル誕生の経緯】

2011年の東日本大震災では、コンテナ型備蓄倉庫の寄贈や復興従事者用の仮設宿泊施設の建設などの為、震災後間もなく現地に入りました。被災地の方が多くの避難所で生活に大きな負担を強いられている状況を目の当たりにし、発災後に安心安全なプライベート空間を迅速かつ簡便に提供したいという想いで誕生したものがレスキューホテルです。

動くホテルの1例目として、宮城県石巻市で復興従事者用宿泊施設として利用されたコンテナを栃木県佐野市に移設し2017年10月「HOTEL R9 SANOFUJIOKA」としてリニューアルオープン。その後、更なる移設性を高めるべく1台1客室型に改良、2018年12月に、動くホテルの1例目として、「HOTEL R9 The Yard（ホテル アールナイン ザ ヤード）」シリーズ1号店が栃木県真岡市にオープンしたことを端緒として本シリーズを全国各地へ展開。全国どこへでもすみやかにレスキューホテルが駆けつける体制づくりを目指します。

【レスキューホテル出動実績】

要請を受け、2020年4月に長崎クルーズ船内における新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてレスキューホテル初の有事出動を行いました。その後、東京都三鷹市および東京都千代田区、都内民間病院へPCR検査体制強化のために出動。空調を完備した客室は、季節や天候等に関係なく診療活動を行うことができ、医療従事者の負担軽減のために利用されました。

2021年12月には、栃木県へ新型コロナウイルス第6波およびオミクロン株の感染拡大対応のため、診察室やナースステーション等の臨時医療施設として126室を出動。さらに2022年2月には、千葉県と東京都の臨時医療施設の付帯施設として計21室が利用されました。レスキューホテルの、1台1客室の独立した客室構造が着

目され、自治体や民間の病院の有事インフラのひとつとして地域医療に貢献しました。

■レスキューホテルは「日常時」と「非常時」のどちらにおいても役に立つ商品として「フェーズフリー認証」を取得しております。

■災害時の備えを全国へ展開し、強靱なまちづくりに貢献～SDGsの取り組み～

レスキューホテルは、「SDGs事業認定」を取得しております。災害時の備えとして自治体との協定締結の輪を広げ、各自治体のBCP(事業継続計画)に寄与し、持続可能な開発目標の達成に貢献します。

【運営会社】

会社名： 株式会社デベロップ
代表者： 代表取締役社長CEO 岡村健史
所在地： 千葉県市川市市川一丁目4番10号 市川ビル8階
設立： 2007年2月
事業内容： ホテル事業、エネルギー事業、建築不動産事業
ホームページ： <https://develop-group.jp>



※「レスキューホテル The Yard(商標 第6240114号)」、「災害支援型レスキューホテル(商標 第6394774号)」、「医療従事者支援型レスキューホテル(商標 第6394775号)」その他「レスキューホテル」の語を用いた商標、並びに「動くホテル The Yard(商標 第6240108号)」その他「動くホテル」を用いた商標は、デベロップの登録商標です。

【本リリースに関するお問い合わせ】 株式会社デベロップ 広報担当

Tel: 047-712-5112 Email: pr@dvlp.jp